

校長室より

「天空高き」



第83号



平成28年5月23日

1%を誰かのために—募金活動—

今回の熊本地震地震では震度7の強い地震が連続で発生しました。またもや、想定外のことが起こりました。

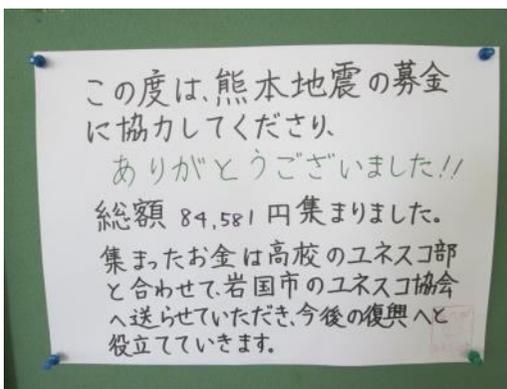
特に2回目の地震は本震とみられ、地震のマグニチュード(M)は7.3で、1995年の阪神大震災と同規模でした。

あらためて、熊本地震で亡くなられた方々にはご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にはお見舞いを申し上げたいと思います。

付属中生徒会は4月下旬に校内で、高校生徒会は4月30日と5月1日に、南岩国駅前、岩国駅前、シンフォニア岩国で、募金活動を展開しました。

付属中では、84,581円、高校生徒会では、80,092円の義援金が集まりました。また、ユネスコ部員も本校の有志諸君と共に募金活動に参加していました。

私たちができることには限界がありますが、私たち一人ひとりが自分にできることを考え、行動することが大切です。たとえ一人ひとりの力は小さくても、みんなが知恵を絞り、汗を流しながら力を合わせれば、きっと今回の災害、危機も乗り越えることができると思います。「1%を誰かのために」その思いが世界を変える第一歩になります。そして、その一歩を踏み出すことで、あなたの世界が変わりはじめます。



知恵の出る公式

知恵=知識×熱意+経験

松下幸之助

一票を投じる—身近なことに関心を—

高校3年生の皆さんは、4月27日L.H.Rの時間に、岩国市選挙管理委員会事務局から「18歳選挙権」についての講話がありました。

主権者教育とは「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者としての自覚を促し、必要な知識と判断力、行動力の習熟を進める教育」です。

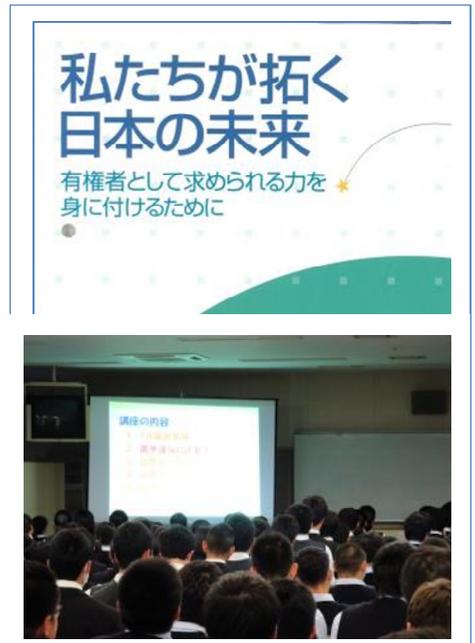
皆さんが高校生3年生になり、誕生日を迎えると選挙権が与えられます。（正確には、投票日の翌日が誕生日の人まで）

皆さんが一市民として、この権利を行使するためには、まず、「ポリティカル・リテラシー（政治的能力）」を養うことです。

「ポリティカル・リテラシー」とは、私なりに解釈させてもらおうと、今皆さんの周りで起こっているいろいろな問題や課題（例えば、身近な家族や暮らしている街で問題になっていること、あなたが不満に思っていることなど）を社会問題として捉えなおすことです。そして、その社会問題は政治で解決できるんだ、と実感することです。それが、今皆さんに求められているということです。

平成26年12月に行われた第47回衆議院議員総選挙では、投票率が20歳代が32.58%、30歳代が42.09%となっており、平成25年7月に行われた第23回参議院議員通常選挙では、20歳代が33.37%、30歳代が43.78%といずれの選挙でも他の年代より、低い水準にとどまっています。

皆さんが国から与えられた貴重な権利を行使すること。つまり、一票を投じることで、日本が変わります。

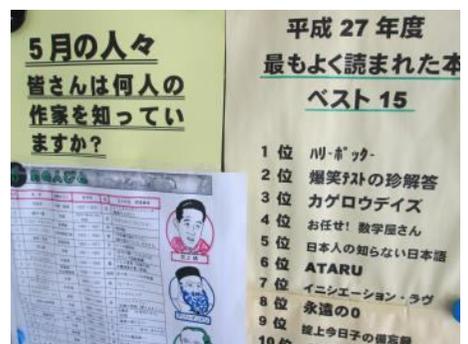


読書タイム—毎日の10分間を大切にしていますか—

本校では朝の読書タイムを導入して10年近くなりました。皆さんはどんな本を読んでいますか。

2015年5月の調査で、1箇月間の平均読書冊数は、小学生は11.2冊、中学生は4.0冊、高校生は1.5冊です。

また、1箇月間に読んだ本が0冊である「不読者」の割合は、小学生は4.8%、中学生は13.4%、



高校生は51.9%です。

残念なことに、年代が上がるごとに、読書量が減少している、という結果になっています。

若い世代が本を読まない最大の理由に、本よりも手軽にネットで情報収集ができる、というのがありとわれています。また、情報機器の広がりに加えて出版量が減少している事もその理由といわれています。

しかし、読書にはたくさんのメリットがあります。文章力がつく、コミュニケーション力が向上する、脳が活性化する、ストレスが発散できる、など。しかし、最大のメリットは、人生を、心を豊かにしてくれることではないでしょうか。

よい授業とは—教育課程・教師・生徒—

中間考査が終わりました。生徒の皆さん、試験結果はどうでしたか。

ところで、「学校で一番重要なことは」と尋ねられたら、皆さんはどう答えますか。

皆さんは小・中・高校の12年間で約1万時間の授業を受けます。

授業時間は1日6時間とすると、皆さんが学校で過ごす時間のほぼ3分の2、1日の4分の1、起きてい時間の3分の1です。人生という長いスパンで見ると、仕事、家庭に関する時間に次いで授業時間が大きな割合を占めています。生徒の皆さんも、すでに学校を出て長い時間を経ている私たち大人も、つまり、すべての日本人が1万時間の授業を受けています。授業はそれほどの大量の時間であり、リリース（資源）です。

ということは、私たちは授業から最大限に学ばなければならないし、授業で学んだことを、将来仕事や生活で最大限に生かさなければなりません。

では、皆さんは「よい授業」とは一体何だと思いませんか。

私は「よい授業」とは、「生徒が伸びる授業」だと思えます。生徒が学力的に、人間的に成長することだと思えます。

授業は、教育課程・教員・生徒で構成されています。よい授業が行われるためには、この3つの要素を充実させる必要があります。

学校はよりよい教育課程を開発します。先生方にもよい授業を行ってもらいます。生徒の皆さんも積極的に授業に参加してよい授業をつくっていきましょう。



梅雨入りとは？－災害に備える－

五月晴れの天気が続いています。山々の緑が映えて気持ちよい毎日が続いています。

先日、気象庁から、16日に沖縄・奄美地方の梅雨入りが発表されました。

皆さんは「梅雨入り」はどのようにして決めるのか知っていますか。

①晴天が2日以上続いた後、②梅雨前線の影響で、前日と本日が雨で、③さらにその後1週間の天気予報が5日以上雨または曇り。

このような天気図がみられた場合「梅雨入りしたと見られます」の発表がされるそうです。

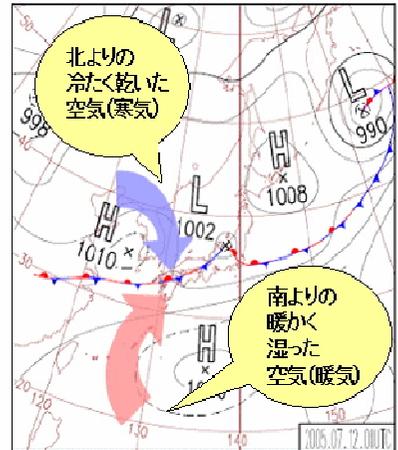
「梅雨前線の影響で」というのが重要で、ただの雨では梅雨とは言いません。また「梅雨」とは季節を表す言葉ですので、梅雨入りの時期もだいたい決まっているそうです。沖縄は4月下旬～5月中旬、関東地方や近畿地方は5月下旬～6月中旬、東北地方が6月初旬～下旬くらいだそうです。

梅雨期には大雨による災害が多く発生します。山口県でも3年前の2013年7月28日、萩市東部地域で集中豪雨災害が起きました。

熊本地震では観測史上初めて震度7の地震が2回続きました。想定外のことがまとも発生しました。気象庁が「経験則が通じない」と余震確率の発表を見送りました。

いつ起きるかもしれない自然災害の恐ろしさと、不断の準備や心構えの大切さを改めて再認識させられました。やはり「想定外」は起こり得ると改めて学び思いです。

再度確認ですが、避難の3原則。①想定にとらわれず、②最善を尽くして、③まずわが身の安全を最優先する。そして、防災の「さ・し・す・せ・そ」さ：最悪を想定して、し：慎重に、す：素早く、せ：誠実に、そ：組織的に、対応するという事です。また、家族で、どこに避難するのか、連絡方法はどのようにするのか、をしっかりと確認してください。天災は忘れる前にやってくる、とされています。



24節気【小満】 しょうまん：5月21日頃

秋に撒いた麦等の穂がつく頃で、ほっと一安心するという意味だそうです。昔は（今もですが）農作物の収穫の有無は生死に関わる問題だったので、作物が無事に育つこととでとりあえずは安心、満足するということから「小満」と呼ばれるようになったとのこと。

また、万物が次第に長じて天地に満ち始めることから「小満」とする説もあるそうです。農家では田植えの準備を始める頃です。梅の実がなったり紅花が咲く時期でもあります。